

議 事 録

会 議 の 名 称	第 2 4 回玉里学園義務教育学校開校準備委員会																																																			
開 催 日 時	令和 2 年 7 月 2 8 日 (火) 1 9 時 0 0 分～																																																			
開 催 場 所	玉里保健センター 集団検診室																																																			
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>相澤 博文</td> <td>狩谷 孝則</td> <td>大山 敏治</td> <td>亀井 研一</td> </tr> <tr> <td>阿部 進</td> <td>山口 祐甚</td> <td>室町 恭司</td> <td>上田貢一郎</td> </tr> <tr> <td>山口 速美</td> <td>谷萩 成利</td> <td>大関 律子</td> <td>堀川 和男</td> </tr> <tr> <td>稲田 義弘</td> <td>園部ゆかり</td> <td>新妻 広章</td> <td>皆川 修</td> </tr> <tr> <td>相澤 牧夫</td> <td>大曾根宏一</td> <td>吉永 成範</td> <td>吉田 行博</td> </tr> <tr> <td>渡邊 信幸</td> <td>吉倉 一郎</td> <td>田口 茂</td> <td>亀井 優</td> </tr> <tr> <td>沼田 悦雄</td> <td>藤田 泰正</td> <td>菊地 隆男</td> <td>大槻 良明</td> </tr> <tr> <td>戸田 見良</td> <td>長津 智之</td> <td>大山 徳</td> <td>羽鳥 文雄</td> </tr> <tr> <td>鶴町 直樹</td> <td>原田 啓司</td> <td>戸田 大我</td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>市村 勝則</td> <td>橋本 昌弘</td> <td>川崎 良明</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>中村 均</td> <td>八木 健</td> <td>狩谷 秀一</td> </tr> <tr> <td>片岡 理一</td> <td>笹目 浩之</td> <td>長島 正昭</td> <td>狩谷 学</td> </tr> <tr> <td>川島 和美</td> <td>植田 薫</td> <td>入野裕美子</td> <td></td> </tr> </table>	相澤 博文	狩谷 孝則	大山 敏治	亀井 研一	阿部 進	山口 祐甚	室町 恭司	上田貢一郎	山口 速美	谷萩 成利	大関 律子	堀川 和男	稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章	皆川 修	相澤 牧夫	大曾根宏一	吉永 成範	吉田 行博	渡邊 信幸	吉倉 一郎	田口 茂	亀井 優	沼田 悦雄	藤田 泰正	菊地 隆男	大槻 良明	戸田 見良	長津 智之	大山 徳	羽鳥 文雄	鶴町 直樹	原田 啓司	戸田 大我		市村 勝則	橋本 昌弘	川崎 良明	加瀬 博正	中村 均	八木 健	狩谷 秀一	片岡 理一	笹目 浩之	長島 正昭	狩谷 学	川島 和美	植田 薫	入野裕美子	
相澤 博文	狩谷 孝則	大山 敏治	亀井 研一																																																	
阿部 進	山口 祐甚	室町 恭司	上田貢一郎																																																	
山口 速美	谷萩 成利	大関 律子	堀川 和男																																																	
稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章	皆川 修																																																	
相澤 牧夫	大曾根宏一	吉永 成範	吉田 行博																																																	
渡邊 信幸	吉倉 一郎	田口 茂	亀井 優																																																	
沼田 悦雄	藤田 泰正	菊地 隆男	大槻 良明																																																	
戸田 見良	長津 智之	大山 徳	羽鳥 文雄																																																	
鶴町 直樹	原田 啓司	戸田 大我																																																		
市村 勝則	橋本 昌弘	川崎 良明																																																		
加瀬 博正	中村 均	八木 健	狩谷 秀一																																																	
片岡 理一	笹目 浩之	長島 正昭	狩谷 学																																																	
川島 和美	植田 薫	入野裕美子																																																		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会の構成 ・ 本年度スケジュール ・ 校歌制作 																																																			
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 ほか)																																																			
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																			

【教育長あいさつ】

お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

連日、コロナのニュースが流れており、本日も県内で10名の感染が確認されたとのことです。

こうしたなかで、本年度第1回目の会議においても、例年よりも遅い時期の開催となっています。

また、工事の方は、着々と進んでおり、予定通り進行しております。

本日は、お足元の悪いところのご出席、ありがとうございます。

本年度もどうぞよろしく願いいたします。

【委員長あいさつ】

お仕事が終わって、お疲れのところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

玉里学園義務教育学校開校準備委員会も、今年度が最後の年となりました。

新校舎の方も、進捗率40%ほどということで伺っております。

こういう時期ですので、工事等も苦勞して進めているところかと思いますが、本日の審議の方も、どうぞよろしく願いいたします。

【副委員長あいさつ】

昨年度に引き続きまして、副委員長を務めさせていただきます。

開校まで、残り1年を切りました。

素晴らしい学校ができるように、皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【協 議】

(1) 専門部会の構成

◆資料1に基づき、事務局より説明

委員長 意見や質問等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、部会構成は、説明のとおりとする。

【協 議】

(2) 本年度スケジュール

◆資料2に基づき、事務局より説明

委員長 意見や質問等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、説明のとおり進めていくこととする。

【協 議】

(3) 校歌制作

これまでの流れとスケジュール

◆資料3-1に基づき、事務局より説明

委員長 説明について、質問等はあるか。

委 員 制作会社の決定について、3社に見積を徴取したとのことであるが、契約した事業者以外の2社についてと、契約金額を伺いたい。

事務局 契約した事業者以外の2社については、東京都、福岡県の事業者であり、また、「音楽制作 SHIOKAWA」とは、約50万円で契約を締結した。

歌詞についての検討

◆資料3-2、参考に基づき、事務局より説明

—学校ごとのグループ協議（15分間）—

委員長 学校ごとのグループ協議の結果について、発表をお願いしたい。

玉里小 **検討事項1：制作会社の提案**

テーマはおおむね提案の内容で良いが、「自立」という言葉は、低学年の児童には難しいため、「前向きにがんばれるように応援する歌」というような内容で考えてもらいたい。

また、コンセプトについても、提案の内容で良い。

歌詞・楽曲に係る具体的な提案としては、①及び②のどちらも良く、子どもたちにとってずっと入ってくる言葉、また、大人になってからも折に触れて思い返し、懐かしい気持ちになり、昔を思い出して今をがんばれるような言葉を入れてほしい。③は、歌詞の構成を考えると、2ハーフではなく、1～3節の方が望ましい。

検討事項2：歌詞の構成

全3節のバランス型が良い。

1節のみでも、自分の地域のことや学校のことを再確認でき、歌詞の意味が伝わるよう、地域と教育について、バランス良く歌詞に入れてほしい。

検討事項3：歌詞や楽曲への要望

前回資料により委員の意見を確認し、2ハーフではなく、また、バランス型の歌詞の構成が良いと再確認した。

玉里北小 **検討事項1：制作会社の提案**

歌詞・楽曲に係る具体的な提案について、②は、子どもたちが楽しい気持ちになれる、口語体が良い。③は、2ハーフの校歌を聴いたことがなく、イメージが湧かないため、曲を聴いてみたい。

検討事項2：歌詞の構成

バランス型とストーリー型を掛け合わせた構成が良い。

まず、ストーリー型では、9学年あるため、節ごとに対象学年を決めると

良い。玉里学園義務教育学校は、4-3-2の学年3区分制であるため、1節目は1～4学年が歌いやすく、2節目は5～7学年向け、3節目は8～9学年が歌いたくなるような歌詞にしてもらいたい。

続いて、バランス型では、地域についての表現は欠かせないが、それに加えて、子どもたちや学校の成長についての表現を入れてほしい。

成長とは、大人からの押し付けがましいものではなく、子どもたちが自主的に行動を取れるような内容が入ると良い。

検討事項3：歌詞や楽曲への要望

校名を入れてほしい。「玉里学園義務教育学校」では長いため、「玉里学園」としてはどうか。

伴奏は、ピアノだけではなく、吹奏楽のようなものが良い。

玉里東小 検討事項1：制作会社の提案

コンセプトについて、提案のとおり、「つい口ずさんでしまう」ような歌であると良い。また、コンセプトには、教育理念も入れてもらいたい。

2ハーフについて、歌詞の構成を考えると、難しい。

検討事項2：歌詞の構成

各テーマ（①地域、②教育、③未来）のつながりを考えたときに、まず、「筑波」と「たくましく」が結びつき、笑顔や元気といった言葉が入ってきて、「かすみがうら」は「まごころあふれる」と結びつき、仲間や仲良しという言葉が想像され、そして、「玉里」と「りりしい」が結びつき、希望や夢、未来といった言葉が使われるようになるのではないかと考えた。

また、③未来を連想させる言葉として、未来に向かって成長する、気持ちを高めるような言葉を入れてほしい。

玉里中 検討事項1：制作会社の提案

2ハーフは特に必要ない。

検討事項2：歌詞の構成

全3節のバランス型またはストーリー型が良い。

検討事項3：歌詞や楽曲への要望

9学年の児童生徒が歌うため、低学年にとって分かりやすく、硬くなりすぎない言葉が良いが、幼稚すぎず、成長していくにつれて歌詞の意味が理解できてくるような歌詞が良い。

歌詞に必ず入れる言葉である「筑波」について、玉里地域では「筑波」＝「筑波山」とイメージしやすいが、県内には「つくば市」があるため、「筑波山」としてはどうか。

歌詞に、「夢を現実（かたち）」に、「仲間」を入れてほしい。

委員長 各校グループから上がった意見を、制作会社へそのまま報告するのか、または、一度総務・通学部会で検討するのか。

事務局 制作会社へ報告し、内容をもとに暫定版を制作してもらい、その歌詞をもとに8月の総務・通学部会で検討、10月の準備委員会で検討という流れを想定している。

【その他】

- ・ 北部地域（玉里北小学校区）の遠距離通学支援
- ・ 通学路の安全対策
- ・ 工事工程
- ・ 放課後子どもプラン

【北部地域（玉里北小学校区）の遠距離通学支援】

副委員長 議事のほか、ご意見、ご質問等はあるか。

委員 遠距離通学支援について、確認をしたい。

まず、定義として、統合により遠距離通学となる児童への支援であると理解している。

また、玉里地区においては、北部地域は路線バス、南部地域はスクールバスを利用した支援を行うことで決定している。

「おおむね」の解釈について、児童の自宅を正確に3 kmでは区切れないため、この表現をしているところかと思うが、バスの設置箇所における「おおむね3 km」というのは、学校から乗降所までの距離なのか、児童の自宅までの距離なのかによっても違いが出てくると思うので、その点を確認したい。

路線バスについては、既存のバス停が決まってしまっているため、場所によっては、学校から自宅までの通学距離が2.7 kmの人も、最寄りのバス停を利用する場合、有料になってしまう事例がある。

事務局 これまでの決定事項としては、児童の通学距離が3 kmということであるが、児童一人一人の家を3 kmで区切るのは難しいため、乗降所を3 km付近に設け、その乗降所を利用する児童については、支援を行うこととしている。

南部地域は、スクールバスの乗降所をおおむね3 kmの位置に設置し、また、北部地域は、おおむね3 kmの位置にある、石岡玉里と玉里駅を利用する児童については、支援を行い、さらに3 kmを超える行政区である、新高浜第二、玉里団地、第三東宝、野村田池及び栗又四ヶの一部地域（水路の北側）については、どの乗降所を利用した場合にも、支援の対象とすることで決定している。

委員 例えば、玉里辻地区について、おおむね3 kmの地域であるが、この地区が最寄りの乗降所を利用する場合には、支援の対象にはならないが、この状況についてはどうか。

事務局 ご指摘のとおり、玉里辻地区とほぼ同一の通学距離である、新高浜第一については、玉里駅を利用する場合には、支援の対象となるが、玉里辻地区にはその選択肢がなく、不公平感を感じるという声を保護者からもいただいている。

そのため、これまで、遠距離通学支援について準備委員会で決定してきたが、今後もう一度準備委員会で検討が必要というご意見があれば、専門部会並びに準備委員会において再検討する事項であると考えている。

委員長 路線バスの遠距離通学支援の対象について、再度確認したい。

事務局 まず、石岡玉里と玉里駅を利用する児童は、全員が支援の対象である。

さらに、行政区の新高浜第二、玉里団地、第三東宝、野村田池及び栗又四ヶ

の一部地域の児童については、路線バスのいずれの乗降所を利用する場合も支援の対象となる。

この2点が、準備委員会において、決定している。

委員 対象者の基準が分かりづらいため、「遠距離通学支援の対象は、学校から自宅までの通学距離が3 km以上」と、はっきり決定した方が良いのではないか。

例えば、学校から自宅までの距離が2.5 kmの児童が、3 km付近の乗降所まで戻ってバスを利用する場合も支援の対象となるのは、違和感がある。

雨風の強い日等は、バスを利用することもあると思うが、支援の対象としては、3 km以上としたほうが良いと思う。

委員 玉里北小学校のPTAの中で、保護者を対象にアンケートを実施したり、話し合いを実施したりしてきた。

一番の問題点としては、玉里北小学校区の中で、支援の対象者に不公平感があるということであるため、調整をしたいと考えている。

副委員長 委員からの意見も出ているので、再度検討が必要であると思うが、専門部会及び準備委員会において、再度検討し、調整を進めるということによろしいか。

— 意見等なし —

副委員長 それでは、部会及び準備委員会で再検討するというので、進めていく。

【通学路の安全対策】

委員 統合によって通学路の安全対策は、どのようになるのか。

開校までに、具体的にどのような対策が可能か、計画等が決まっていれば、教えてもらいたい。

事務局 道路管理者や警察等に、引き続き働きかけを行い、通学路の危険箇所への対応を行いたいと考えている。

具体的な箇所については、まだお伝えできないが、教育委員会で対応できる場所は対応し、他の機関との調整が必要な場合には、積極的に依頼していきたいと考えている。

委員 保護者から具体的な箇所の要望が上がった際には、ぜひ優先的に対応をお願いしたい。

委員 スクールバスの乗降所の検討において、おおむね3 kmの箇所に設置しているが、小川地区と玉里地区の地域の大きさが異なるため、同一の基準でなくても良いと感じる。

また、登校時の見守りをしていて感じることで、低学年の児童にとって、荷物の多い日や雨の日の登校は大変である。

保護者が送迎してしまえば良いのかもしれないが、子どもたち同士で話しながら通学したいという気持ちもあると思うので、子どもたちの実情も踏まえながら、検討してもらいたい。

【工事工程】

◆当日配布に基づき、事務局より説明

副委員長 意見や質問等はあるか。

— 意見等なし —

【放課後子どもプラン】

事務局 全体の整備計画として、放課後子どもプランを、当初は新しい学校の敷地内、具体的には体育館手前に配置する計画としていたが、公共施設総合管理計画の中で協議をした結果、民間へ移行することとなり、玉里総合支所に隣接した敷地を利用して、建設する準備段階でいる。

また、料金については、市と民間とで差があるため、均等化するように調整を進めている。

さらに、放課後子どもプランまでの移動手段であるが、車での送迎を予定している。

副委員長 意見や質問等はあるか。

委員 現在、各小学校で放課後子どもプランを利用している保護者にとって、関心の高い事項であると思うので、可能な限り情報提供をしてもらいたい。

また、昨今のコロナウイルスの心配もあると思うので、密を防ぐような施設を作ってもらいたい。

閉会 (20:25)